

6 排水トラップの取付け

注意

- パッキンの向きに注意する。
- 管は奥に当たるまで差し込む。
- 排水時、排水トラップのくぼみを雑染剤の継手やアダプターと重ねない。
- 接着に耐熱値と用接着剤を使用しない。
- 漏水し、家財などを濡らすと大きな損害発生の恐れがあります。
- 排水管に干渉するものがないか確認する。
- 干渉している場合、接続部が外れ漏水を引き起こす恐れがあります。
- 排水トラップのナットの位置を化粧台の奥側に向ける。
- 収納物が配管に当たると漏水を引き起こす恐れがあります。

7 水受けタンクの取付け

キャビネット背板のガイド穴2カ所に付属のクリップを差し込み、水受けタンクを取り付けます。

※水受けタンク取付け後、ホースの動きを確認してください。

※ホースが止水栓と干渉したり、水受けタンクに取まらぬ場合は、次のように調節してください。

調節が不十分な場合、ホースが出入りしにくい、ホースが引っ掛かって水受けタンクが外れる、などが発生する場合があります。

※シャワーホースの引き出し長さを確認してください。シャワー吐水部が洗面器先端よりやや奥にあることを確認してください。洗面器先端から入らないでください。

※極端に長いあるいは短い場合は、ストッパー位置を調節してください。

D トールキャビネットの取付け

- (1) 下部キャビネットを化粧台の隣に仮設置します。
- (2) けこみの高さが合わない場合はトールキャビネット(下部)のアジャスターボルトで調節してください。
- (3) キャビネット同士を連結用ねじで連結します。
- (4) 下部キャビネットを固定用ねじで壁に固定します。
- (5) 下部キャビネット上面のダボに上部キャビネットをはめ込みます。
- (6) 上部キャビネットを固定用ねじで壁に固定します。

取っ手の取付け

取っ手が同梱されているキャビネットの場合は、取っ手を取り付けます。

図の取っ手を縦に取り付ける場合は、向きに注意して取り付けます。(図は左開きの場合。右開きは左右対称)

対象の取っ手 (GRS、GR1Sの場合)

洗面ボウル周囲のシール

●洗面ボウルと壁あるいは隣接キャビネットとの合わせ部をシリコン系シーリング材でシーリングします。

注意
必ずシーリングする。
※合わせ部から水が浸入しキャビネットや壁・床を傷める恐れがあります。

取付け後の確認

■固定用ねじが十分に締まっていること

■水栓金具の取付け確認を行うこと

■ガタツキ・壁とキャビネットとの隙間がないこと

■排水確認を行うこと

■吐水口の掃除をする

■排水栓の動作確認

■お願い

取付け後は洗面ボウル表面を養生し、後の工事などで傷つかないようにする。
※洗面ボウルが傷つくと、補修しても完全に元の状態には戻りません。

周辺キャビネットの取付け

注意

キャビネットの取付位置は、周囲の可動物と扉が当たらないことを確認する。
※使用中、扉が当たると破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

アッパーキャビネット(間口調整付)、ランドリーキャビネット(間口調整付)、L型収納バックは、製品同様の取付説明書をご覧ください。

A ミドルキャビネット・ランドリーキャビネットの固定

キャビネットの天面をミラーキャビネットの上端に合わせて設置し、固定用ねじで壁に固定します。

※アッパーキャビネット(ダウン機構付)の横に設置する場合は扉の吊元がアッパーキャビネット(ダウン機構付)の逆側になるように設置して下さい。アッパーキャビネット(ダウン機構付)の収納部を降ろした時、扉が干渉します。

B アッパーキャビネットの取付け

- (1) ミラーキャビネットまたはミドルキャビネット・トールキャビネットの上に設置し、固定用ねじで壁に固定します。
- (2) 隣接するアッパーキャビネットがある場合は連結用ねじで固定します。

プッシュラッチが下側になるように

調節方法

《扉の調節》

●蝶番種類を確認し、調節してください。

タイプⅠ、タイプⅡ、タイプⅢ、タイプⅣ

○タイプⅢ：ダンパー付の場合
下記方法にてダンパーを取り外し、蝶番の調節を行います。
※調節後は、同じ位置に取り付け直してください。
※保護用手袋を着用してください。

■ダンパー取外し
扉側へスライドさせるように引く。

■ダンパー取付け
① フック型ツメを蝶番の四角穴手前当てる。
※かき形ツメを優先に差し込むと入りません。

■取外し
蝶番の着脱レバーを手前へ引きながら取り外す。

■取付け
蝶番の軸を台座のフックに矢印側から引っ掛ける。

注意
扉の取付け後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認する。
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

調節レバーをA部に合わせて「カチッ」と音がするまで押す。

プッシュラッチの調節

洗面化粧台(GJ,J1)・アッパーキャビネット・ミドルキャビネット・トールキャビネットの場合

扉と本体の隙間を調節します。
基準値：隙間2mm

●扉の隙間が大きい場合。
プッシュラッチのねじを右に回します。

●扉の隙間が小さい場合。
プッシュラッチのねじを左に回します。

引出し(フルスライド、トールキャビネット・ランドリータイプ)の取付け・取外し、チリ調節

■引出しの取外し
引出しを止まるまで引き出し、一度少し上を持ち上げ(コンという音がしてロックが外れます)てから、さらに手前へ引き出します。

■引出しの取付け
① ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。
② 引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込みます。その際、カチャと音が出てロックがかかります。
※取り付けた後は、数回引出しを開閉させ正確に取り付けられている(カチャ・異音がない)ことを確認します。

■前板の調節

●引出し調節の準備
引出し前板裏面と引出し底板の間に、L型金具を取り付けてあります。引出し調節(前板の傾き調節以外)を行う際は、必ず固定ねじを緩めて(金具が動く程度)から行ってください。また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

●引出し横の化粧カバー取り外し

《上下の調節》
図のように、上下調節ねじを回し調節します。
※調節範囲：上下方向へ各2mm程度

《前板の傾きの調節》
ギヤラー付き引出しのみ対応可能)図のように、サイドギヤラー(パイプ部)を回し、前板の傾きを調節します。
前板を手前へ倒す場合：左へ(前板正面から見)回す
前板を後ろへ倒す場合：右へ(前板正面から見)回す
※サイドギヤラー後方の樹脂部品(ブルー色)のねじ部に隙間が残りますが、この隙間は調節しなくて構いません。

《左右の調節》
図のように、左右調節ねじを回して調節します。
右へ移動する場合：右側ねじを右へ回し、左側ねじを左へ回す。
左へ移動する場合：右側ねじを左へ回し、左側ねじを右へ回す。
※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各1mm(計2mm)程度

引出し(引出しタイプ(GR)、トールキャビネット)の取付け・取外し、調節

■引出しの取外し
① 引出しを最後まで引き出します。
② 引出しを持ち上げて外します。(左へ回す)
③ Cねじを回して調節します。
④ 上に動かす場合ねじを右に回す
下に動かす場合ねじを左に回す
⑤ ①で緩めたBねじを固く締め付けます。

■引出しの取付け
取外しと逆の手順で取り付けます。

■前板の調節(左右の調節)
① Aねじを4カ所すべて緩めます。
② 引出し前板を左右に動かして調節します。
③ ①で緩めたAねじを固く締め付けます。

《前板の傾き調節》
① カバーを上へ引き上げて外します。
② Bねじを緩めます。(左へ回す)
③ Dねじを回して調節します。
手前に倒す場合ねじを右に回す
後ろに倒す場合ねじを左に回す
④ ②で緩めたBねじを固く締め付けます。
⑤ ①で外したカバーをはめ込みます。

注意
調節後、Aねじが固く締まっていることを確認してください。
※ねじが緩んでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

引出し(トールキャビネット(間口150)、引出しタイプ(GJ,J1))の取付け・取外し、調節

トールキャビネット(間口150)の場合

■引出しの取外し
① 引出しを最後まで引き出します。
② 引出し前板を上下左右に動かして、正しい位置にします。
③ ①で緩めたねじを固く締め付けます。

■引出しの取付け
① キャビネット本体側のレールを手前へ引き出し、引出し側のレールと合わせます。
※引出し内部の可動部の位置に注意して取り付けてください。ずれた位置で取付けた場合、レールが破損し、動作不良の原因となる恐れがあります。

■前板の調節
① 引出しを取り外します。
② 図の位置にある左右中央の固定ねじを手もみドライバーで緩めます。
③ 左右上下に調節します。
④ 手もみドライバーで固定ねじを締め付けます。
⑤ 引出しを取り付けます。
⑥ 正しい位置になるまで繰り返します。

注意
取付け後は、数回開閉させ、正しく取り付けられていることを確認する。
※使用中に外れてケガをする恐れがあります。